

## 第289回教育研究評議会議事要録

1. 日時 平成29年9月19日(火) 13:30~14:05
2. 場所 事務局棟 第2会議室
3. 出席者 中井学長、小沢理事・副学長、真田副学長、千葉副学長  
朝賀人間発達文化学類長、谷評議員、中村評議員  
鈴木行政政策学類長、田村評議員、垣見評議員  
佐野経済経営学類長、伊藤評議員、吉川評議員  
二見共生システム理工学類長、佐藤評議員  
初澤うつくしまふくしま未来支援センター長  
難波環境放射能研究所長  
【オブザーバー】生源寺農学系教育研究組織設置準備室長、  
橋本監事
4. 欠席者 中田理事・副学長、三浦理事・副学長、若井理事・事務局長、  
山口評議員

### 5. 議事

#### 【確認事項】

第288回教育研究評議会議事要録を原案のとおり確認した。

#### 【審議事項】

##### (1) 当面の入試改革方針について

各学類長から、第286回教育研究評議会(8月1日開催)において審議され、各学類教員会議に意見聴取していた標記について、各学類教員会議における意見聴取の結果について戻り報告があった。

朝賀人間発達文化学類長から、当面の入試改革方針について特に異論なく了承されたとの報告があり、併せて、マトリックス作成にあたっての項目の明確化に関する意見が出された旨、報告があった。

鈴木行政政策学類長から、当面の入試改革方針について特に異論なく了承されたとの報告があり、併せて、当面の学類に関わる検討諸課題に関連して、英語4技能入試の内容、推薦入試とAO入試の違い、外部試験活用時の費用負担等、多くの質問が出されたこと、各学類教員が減員する中での持続可能な入試制度への要望が出されたとの報告があった。

佐野経済経営学類長から、当面の入試改革方針について特に異論なく了承されたとの報告があった。

二見共生システム理工学類長から、当面の入試改革方針について特に異論なく

了承されたとの報告があり、併せて、作問体制の外注化の検討、理工学類と食農学類入試における数学出題範囲の不一致に伴う懸念について意見が出されたとの報告があった。

以上の戻り報告を受けて、真田副学長から、各学類教員会議における質問や意見の回答として、マトリックス作成の方向性、推薦入試及びAO入試の平成32年度以降の名称変更等の概要等について説明があった。引き続き、今後のスケジュールについて説明があり、各学類の検討材料に役立ててもらうため、入試に関する情報収集及び情報提供を随時行っていくとの発言があった。

審議の結果、原案のとおり承認された。

各学類教員会議へ、教員控室に資料掲示の上、報告することとした。

#### 【報告事項】

##### (1) 福島大学と放送大学との間における単位互換に関する覚書(案)について

三本木教務課長から、平成30年度から現代教養コースで放送大学との単位互換を実施するにあたり覚書の締結が必要であるため、単位互換実施事前確認事項及び覚書(案)の内容について説明があった。

質疑応答の中で、平成31年度以降の夜間主コースの担当体制が変わることに伴う放送大学との単位互換に関する議論の進め方について質問が出され、中井学長から、新たな責任分担体制においても、現在の現代教養コース運営委員会に相当する委員会で議論することとなるため、今回の履修者数や受講動向も含めた結果を参考に検討していく旨、発言があった。

各学類教員会議へ、教員控室に資料掲示の上、報告することとした。